

TOPIC①

第37回SCCJセミナー開催!

「明日から使える分散技術 — その理論と応用 —」

【2011年2月25日@大阪国際交流センター 参加者214名】

今回は製剤技術の基礎のひとつとなる分散をテーマに取り上げました。セミナーでは大学から1名の先生、業界内外から6名の先生を講師としてお招きし、さまざまな関連した基礎研究や技術動向について広くお話いただきました。また本セミナーの特色でもある、講演後のフリーディスカッションの場で、講師の皆様と直接議論する事で、聴講するだけでは得られない新たなヒントが見つけれられたのではないかと思います。



講演後の熱心なフリーディスカッション

講演①【分散と分散系のレオロジーの基礎】

- ②【顔料分散に及ぼす顔料粉体の表面処理の効果と応用】
- ③【紫外線散乱剤分散系の評価法】
- ④【「きれい」をつくる分散技術—メイクアップ化粧品における着色顔料分散について—】
- ⑤【肌を育むための分散技術—ベシクルの分散について—】
- ⑥【顔料分散における湿式微粉碎技術】
- ⑦【自動車用塗料における分散技術】

千葉大学大学院工学研究科 大坪泰文先生

大東化成(株) 田中巧氏

(株)資生堂 那須昭夫氏

(株)カネボウ化粧品 永井智雄氏

(株)コーセー 紺野義一氏

(株)井上製作所 大江田浩光氏

関西ペイント(株) 原川浩美氏

次回、第38回SCCJセミナーは「保湿(仮)」をテーマに9月30日@パシフィコ横浜で開催予定

TOPIC②

東京支部主催「技術見学会」 ライオン(株)小田原工場&海洋研究開発機構

【2010年11月24日 参加者 76名】

ライオン(株)小田原工場では、お馴染みのクリニカ、デンターシステムなどハミガキの製造工程を見学。原料の搬入から包装までの徹底した品質管理は大変すばらしいものでした。また、環境問題、特に種の保存に力を入れていて、地元固有の小田原のメダカと足柄のホタルの育成・保存に貢献しているということでした。

横須賀の独立行政法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)では、高圧実験用の水槽、引退した「しんかい2000」、ほとんど戻って来ている事がないという「しんかい6500」(メンテナンス中)を見学。その後、海洋・極限環境生物圏領域 海洋生物多様性研究プログラム 秦田勇二先生に「深海微生物からの新規酵素の発見とその応用について」をご講演いただきました。

JAMSTEC:しんかい2000見学風景→



TOPIC③

大阪支部主催「勉強会」 化粧品研究開発における 皮膚細胞研究について 基礎編

【2011年2月22日 @薬業年金会館(谷町)参加者83名】

- 講演1 「皮膚細胞とはおよび皮膚細胞を用いることの意義」
(株)資生堂 天野 聡 氏
- 講演2 「市販培養細胞の知識 -準備とその取り扱い-」
倉敷紡績(株) 鳥島 久 氏
- 講演3 「皮膚細胞研究の応用とその可能性」
国立医薬品食品衛生研究所 小島肇夫 氏

第一線でご活躍の講師をお迎えし、ご講演頂きました。講演後のパネルディスカッションでは、演者の細胞に対する第一印象、細胞研究でできることとできないこと、現在のプロトコルにおける限界、若手研究者にたいしてのメッセージなど、演者と勉強会委員の計7名によるクロストークで活発な討論が行われました。交流会では、演者の方々との名刺交換、談話が続き、今回のテーマおよび演者に対する参加者の関心の高さが印象的でした。

TOPIC④ ASCS2011 ソウル大会

2年に1度開催されるASCS(アジア地区化粧品技術者大会)が2011年4月6日~8日に韓国・ソウルのCoex World Trade Centerで開催されました。アジアを中心として、世界各国から多くの化粧品技術者が集まり、熱いディスカッションが繰り広げられました。日本からは、20題のポスターによる研究発表が成され(そのうち11題は口頭発表も)、開催国韓国に続いて演題数も多く、アジアの化粧品研究をリードしていました。





SCCJに集まれ! 広報委員長 菅沼 薫

SCCJの会員になれば、最新の化粧品技術を習得できるだけでなく、同じ悩みを持つ多くの研究者や技術者と話し、行動することができます。より良い化粧品を開発するために、切磋琢磨する仲間ができます。よきライバルはよき友になる。ホームページには、SCCJが主催する研究会や討論会の案内が掲載されています。会員でなくても参加できます。まずはSCCJに集まろう!

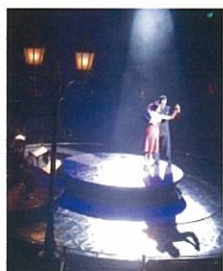
SCCJ (日本化粧品技術者会) とは?

SCCJ(The Society of Cosmetic Chemists of Japan)の活動目的は、「化粧品及び関連の科学技術の進歩向上に貢献すると共に、会員相互の交流と啓発を図るための事業を行い、内外の化粧品発展に寄与する」ことです。会員は現在約1,500名。年に2回の研究発表討論会やセミナー、研究会、見学会をはじめ、支部独自の活動も盛んです。学会誌も年間4回発行され、2年に1度掲載された論文の中から優秀論文が表彰されます。

学術レベルの世界ランキングが単独No.1に!

SCCJに入会すると、世界の化粧品科学者が集まる国際化粧品技術者連盟(IFSCC)(参加国47カ国、会員数:約15,000名)の会員としても登録されます。各国の会員数と科学貢献度により算出されるIFSCCランキングでは、昨年、とうとう単独トップに躍り出ました。IFSCCが開催する国際的な学術会議(IFSCC学術大会)での、SCCJ会員からの研究発表は、学問的価値や化粧品への応用の可能性が高いとして毎回注目されています。

IFSCCフェノスアイレス大会 日本がAWARD最優秀賞独占!!



各国の化粧品技術者が一堂に介して研究成果を発表し、討論することを目的として開催される学術大会 IFSCC Congressが、2010年9月20~23日の4日間、アルゼンチン・ブエノスアイレスで開催されました。世界39カ国からの参加者により、口頭発表66題、ポスター発表282題の研究発表がなされました。本大会では、基礎研究部門(Basic Research Award)、応用研究部門(Applied Research Award)、ポスター部門(Poster Award)のすべての部門で日本企業の研究発表が最優秀賞を独占。日本の化粧品研究のレベルの高さが特に際立ちました。

次のIFSCC Conferenceは 2011/10/31~11/2 タイ・バンコクにて開催されます
バンコク大会website <http://www.ifsc2011.com/>



タイの(暴走?)タクシー「トゥクトゥク」

IFSCC加盟国 ランキング (上位10ヶ国)

2010年	2008年(参考)
1. 日本	1. 日本
2. アメリカ	アメリカ
3. フランス	フランス
4. ブラジル	4. ドイツ
5. ドイツ	イギリス
6. イギリス	6. ブラジル
7. 韓国	7. 韓国
8. スペイン	8. スペイン
9. アルゼンチン	9. イタリア
10. イタリア	10. アルゼンチン スイス

技術者会HPに便利な化粧品用語集機能を追加!

日本化粧品技術者会が編者として発行されている「化粧品事典」の内容(一部)を用語集として公開しました。「化粧品事典」は、化粧品に関する知識を網羅したもので、化粧品科学に関する専門用語を解説した用語集。テキスト検索で、項目名・全文検索などが可能です。



化粧品用語クロスワードクイズ

回答は技術者会HP化粧品用語集で検索

タテ1. 広義には動植物界に広く存在する褐色ないし黒色の色素の総称である。

タテ2. 広く植物中に存在する6価のアルコール、保湿剤、柔軟剤としてクリーム、化粧水、乳液、ファンデーションとして使用する。

ヨコa. 脂腺性毛包に生じる炎症性の皮膚疾患。

ヨコb. 粉末状の化粧品をそのまま容器に充てんしたもの。

ヨコc. 含水ケイ酸マグネシウムを主成分とする白色粉末で、滑石(かっせき)を微粉砕し、精製したもの。

メール配信会員募集!

現在、約600名の方がメール配信会員として登録。技術者会からのさまざまな情報をタイムリーに発信しています。会員の方はもちろん会員でなくても登録は可能です。Web登録をすませている方はすぐに登録を!

技術者会URLはこちら

<http://www.sccj-ifsc.com>

入会・問い合わせは下記の技術者会HPまたは事務局まで

<http://www.sccj-ifsc.com>

日本化粧品技術者会 事務局 ☎ info@sccj-ifsc.com

TEL:045-590-6025 FAX:045-590-6093



日本化粧品技術者会
The Society of Cosmetic Chemists of Japan

SCCJ Press vol.2

発行元: 日本化粧品技術者会 広報委員会